

# 京都府漁海況情報

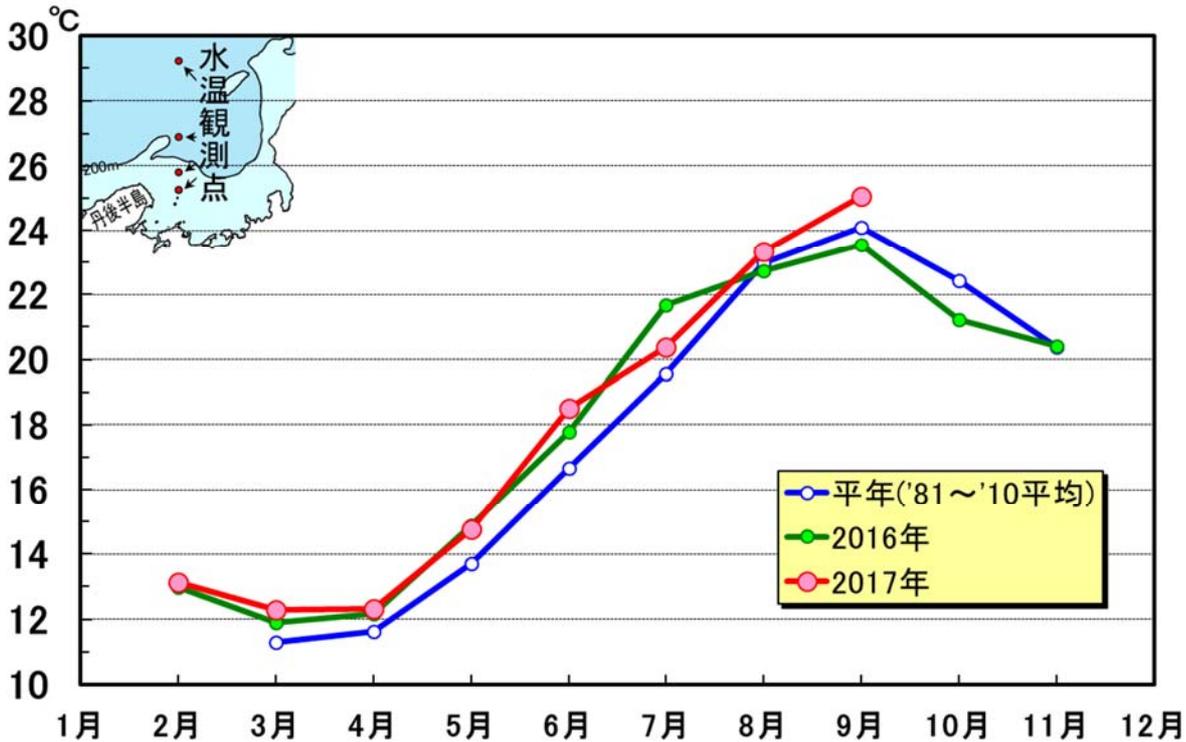
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

平成 29 年 7～9 月における京都府周辺の表層水温は、「平年並み」～「平年よりかなり高め」で推移していました。

京都府沖の表層水温 (0～50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較

	7月	8月	9月
京都沖の表層水温	20.4 °C	23.3 °C	25.1 °C
前年比	-1.3 °C	+0.6 °C	+1.0 °C
平年比	+0.8 °C (かなり高め)	+0.3 °C (平年並み)	+1.0 °C (やや高め)

7～9月の天気まとめ

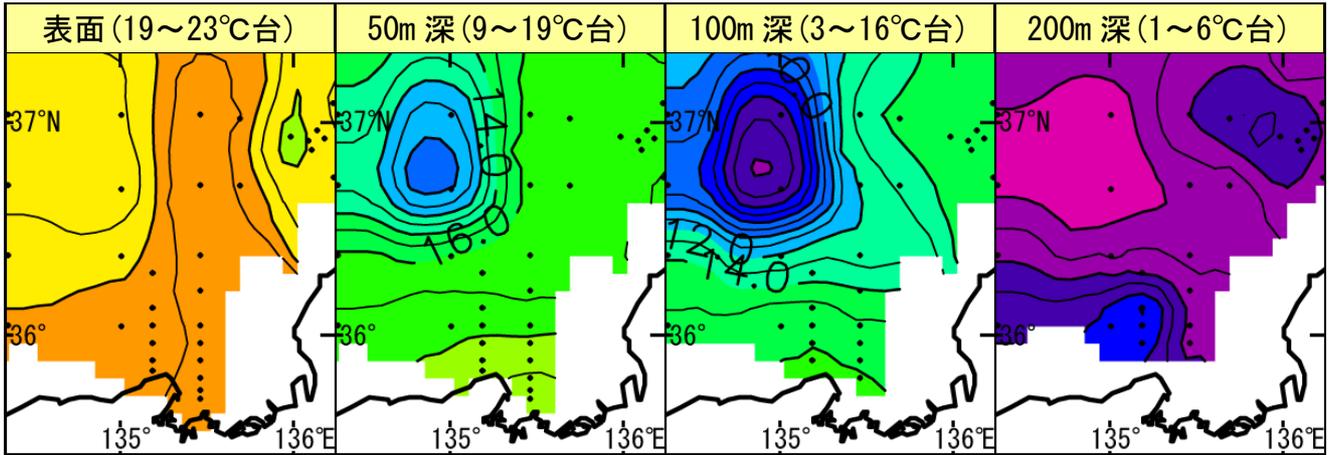
京都北部周辺の平均気温	平年より高かった。
京都北部周辺の降水量	平年よりかなり多かった。

資料元：気象庁

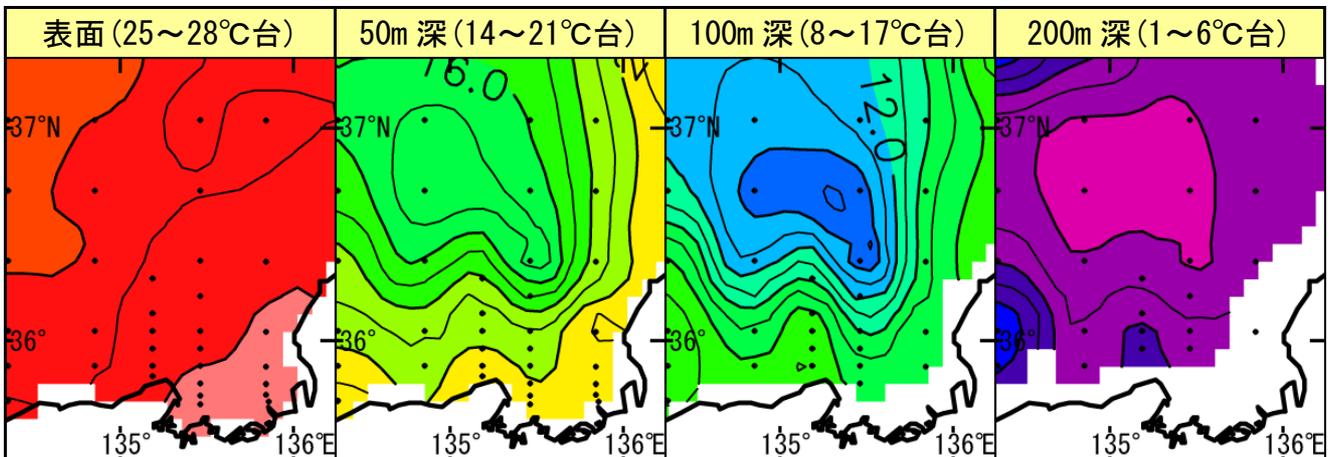
京都府周辺の各層水温(2017年7~9月)

7月上旬

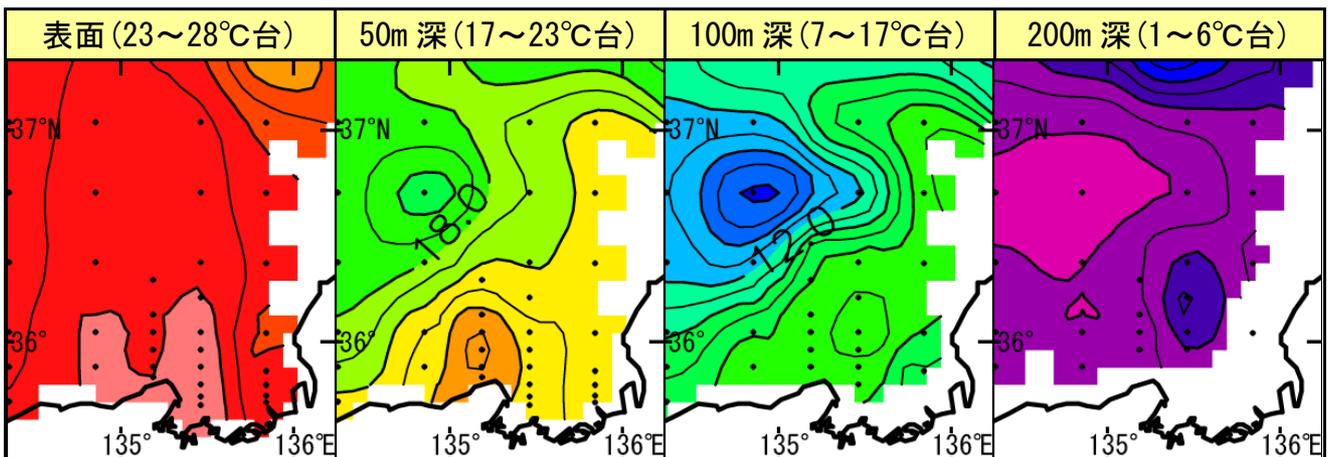
資料元：日本海区水産研究所



8月上旬



9月上旬



【今後の見込み】

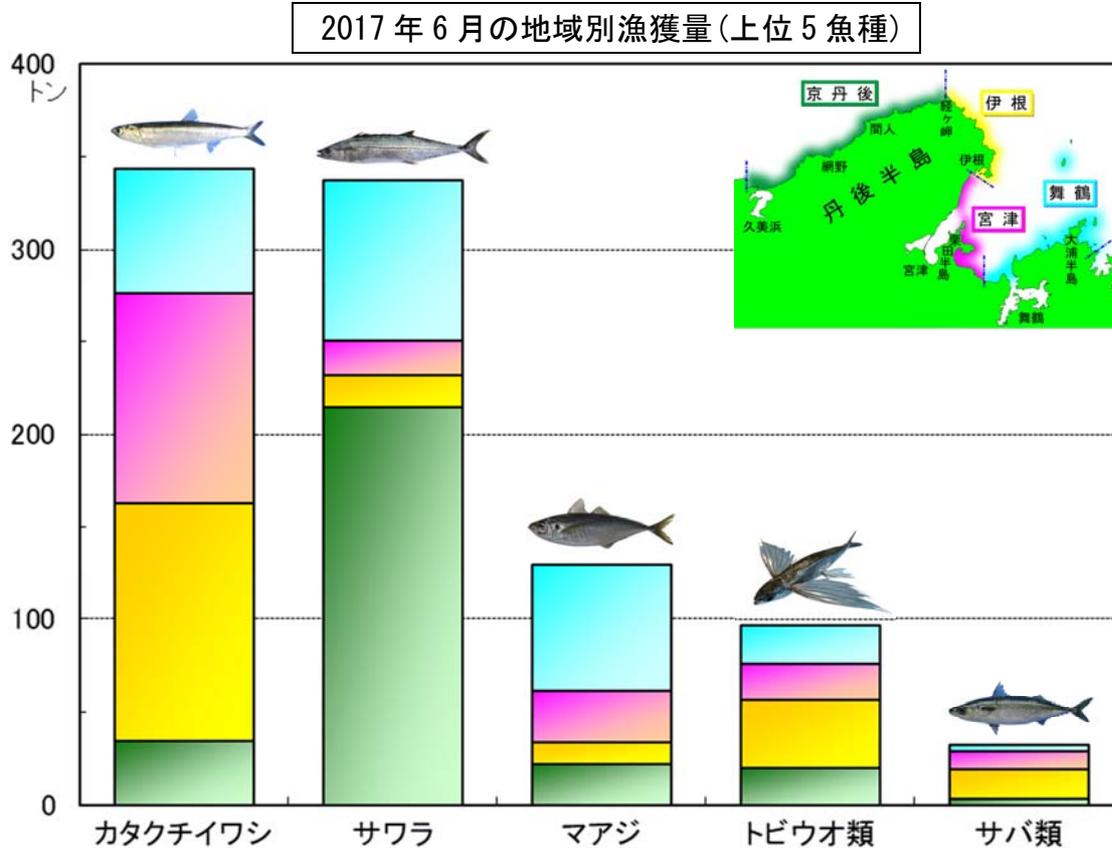
資料元：気象庁

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	平年より「高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	平年より「かなり強い」で推移する見込み

# 漁模様 2017年6月～8月

## 《定置網漁業》【6月】

カタクチイワシが平年の1.3倍(前年の2.6倍), サワラが平年の4.8倍(前年の2.0倍)と好調でした。一方、マアジが平年の5割弱(前年の9割強), ブリが平年の3割弱(前年の3割弱)と低調でした。全体では平年の1.1倍(前年の1.3倍)でした。



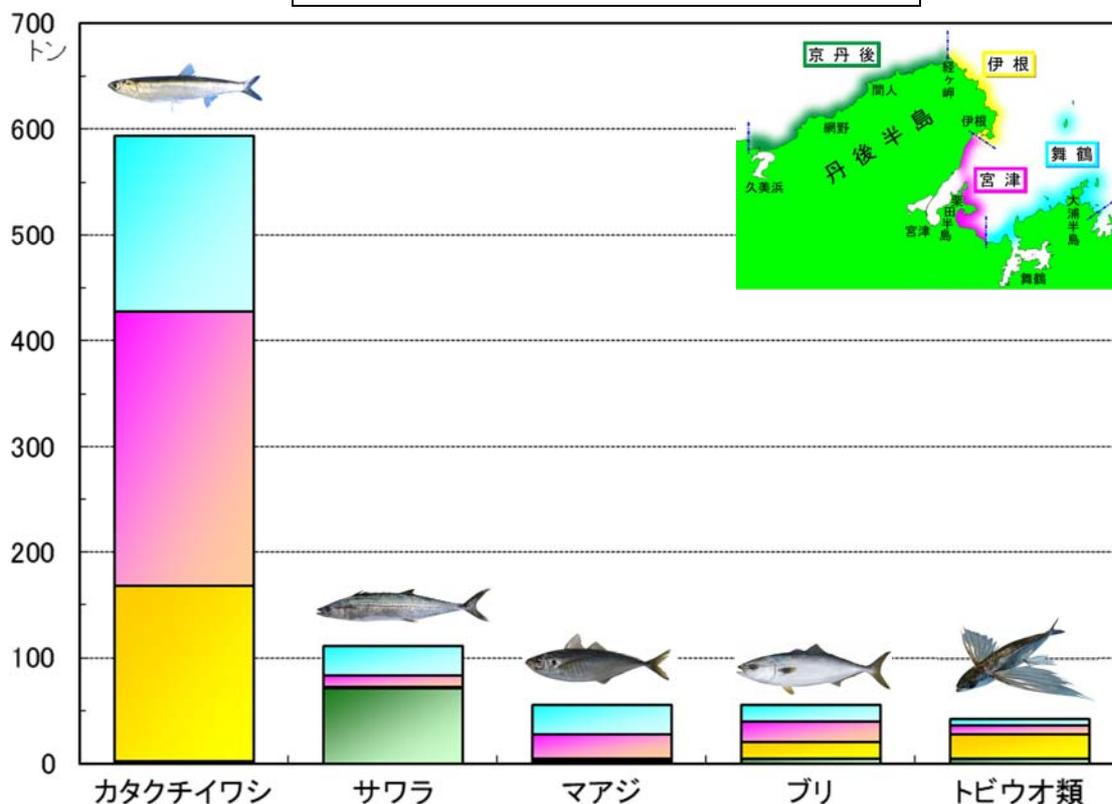
6月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	343.6	131.9 (260%)	270.7 (127%)	<カタクチイワシ> 体長は3cm～8cm台でした。
サワラ	337.2	167.9 (201%)	69.7 (484%)	
マアジ	129.4	141.3 (92%)	266.2 (49%)	
トビウオ類	96.9	109.5 (88%)	98.9 (98%)	
サバ類	32.4	9.7 (334%)	16.9 (192%)	
イカ類	28.2	37.8 (75%)	32.9 (86%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が8割強, スルメイカが1割強などでした。
ブリ	25.1	85.7 (29%)	93.0 (27%)	
スズキ	16.9	29.3 (58%)	13.6 (125%)	
マグロ類	13.7	7.1 (193%)	5.7 (242%)	
タイ類	9.7	8.2 (120%)	6.3 (154%)	
その他	47.8	107.9 (44%)	70.6 (68%)	
合計	1080.9	836.1 (129%)	944.6 (114%)	

平年は過去10年平均

## 【7月】

カタクチイワシが平年の1.6倍（前年の1.1倍）と好調でした。一方、マアジが平年の5割弱（前年の5割強）、ブリが平年の7割強（前年の8割強）と低調でした。全体では平年の1.1倍（前年並み）でした。

2017年7月の地域別漁獲量(上位5魚種)



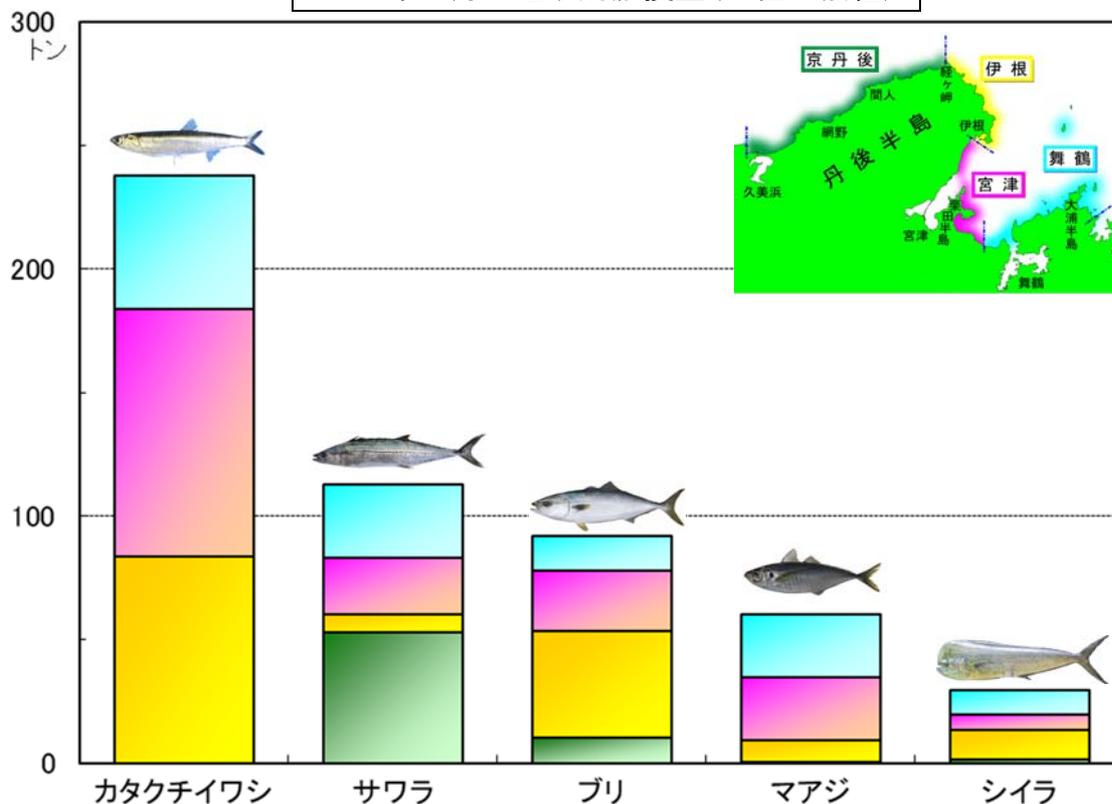
7月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	593.8	537.9 (110%)	374.4 (159%)	<カタクチイワシ> 体長は3cm~6cm台でした。
サワラ	111.2	89.7 (124%)	115.8 (96%)	<サワラ> さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)が6割弱, さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が4割強, さわら大銘柄(体重3.0kg以上), やなぎ銘柄(0.4kg未満)がごくわずかでした。
マアジ	55.8	103.3 (54%)	119.1 (47%)	
ブリ	55.7	67.5 (83%)	75.2 (74%)	<ブリ> つばす銘柄が6割弱, はまち銘柄が4割強, ぶり銘柄, まるご銘柄がごくわずかでした。
トビウオ類	42.7	32.1 (133%)	61.7 (69%)	
サバ類	39.8	25.0 (159%)	17.7 (226%)	
イカ類	14.9	28.0 (53%)	22.1 (68%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)がほとんどでした。
タイ類	13.1	9.2 (142%)	7.4 (177%)	
タチウオ	11.7	2.1 (568%)	2.6 (443%)	
スズキ	10.9	24.5 (44%)	12.0 (90%)	
その他	34.8	39.9 (87%)	57.7 (60%)	
合計	984.4	959.2 (103%)	865.7 (114%)	

平年は過去10年平均

## 【8月】

カタクチイワシが平年の1.2倍（前年の2.8倍），タチウオが平年の2.7倍（前年の3.7倍）と好調でした。一方，ブリが平年の7割強（前年の3割強）と低調でした。全体では平年並み（前年の8割弱）でした。

2017年8月の地域別漁獲量(上位5魚種)



8月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	238.1	86.6 (275%)	192.6 (124%)	<カタクチイワシ> 体長は3cm~9cm台でした。
サワラ	112.9	121.4 (93%)	99.2 (114%)	<サワラ> さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)がほとんどでした。
ブリ	91.3	289.0 (32%)	128.8 (71%)	<ブリ> つばす銘柄が7割強, はまち銘柄が3割弱, まるご銘柄, ぶり銘柄がごくわずかでした。
マアジ	60.0	66.8 (90%)	72.4 (83%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が8割強, アオリイカ(秋いか)が1割強などでした。
シイラ	29.3	100.9 (29%)	22.1 (133%)	
タチウオ	19.6	5.3 (371%)	7.4 (267%)	
サバ類	12.9	20.4 (63%)	8.3 (156%)	
タイ類	8.2	6.7 (123%)	5.5 (149%)	
スズキ	6.4	8.7 (73%)	6.6 (96%)	
イカ類	4.0	14.7 (27%)	8.2 (49%)	
その他	29.9	52.6 (57%)	56.6 (53%)	
合計	612.6	772.9 (79%)	607.6 (101%)	

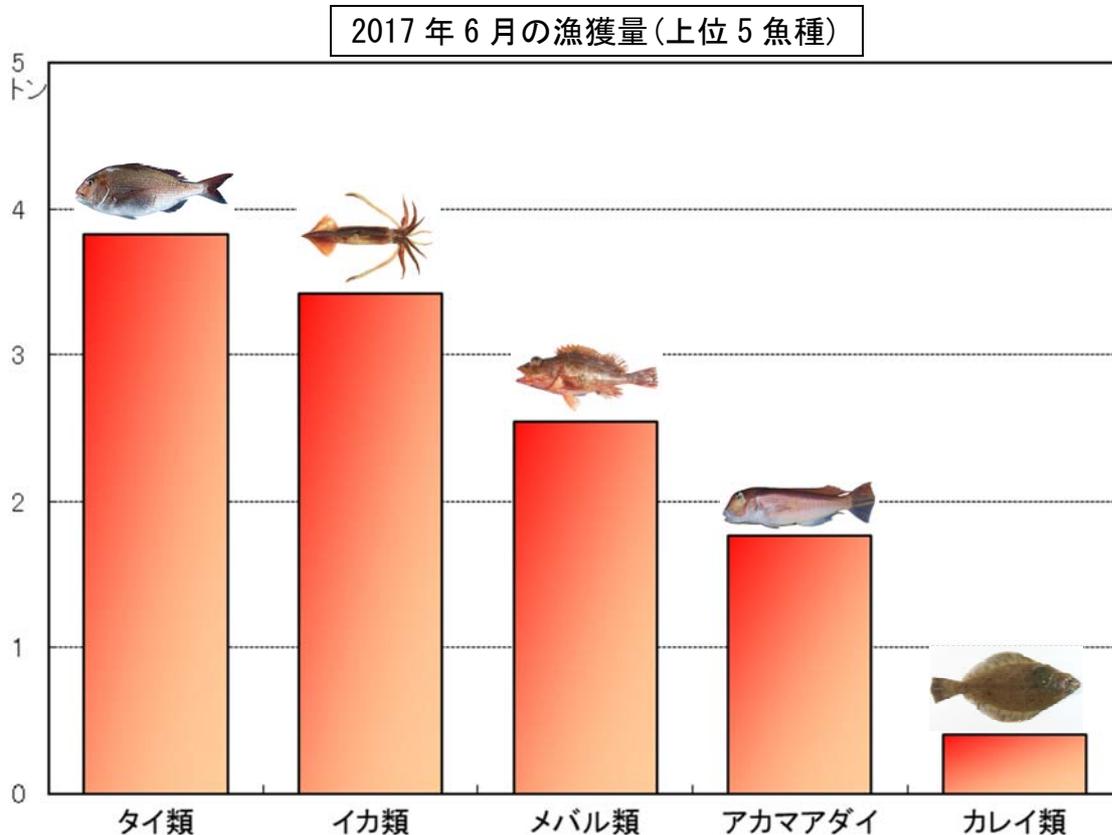
平年は過去10年平均

## 《底曳網漁業》【6～8月】

資源保護のため6月から8月は休漁です。

## 《釣り・はえなわ漁業》【6月】

全体の水揚量は、平年の5割強（前年の7割弱）と低調でした。



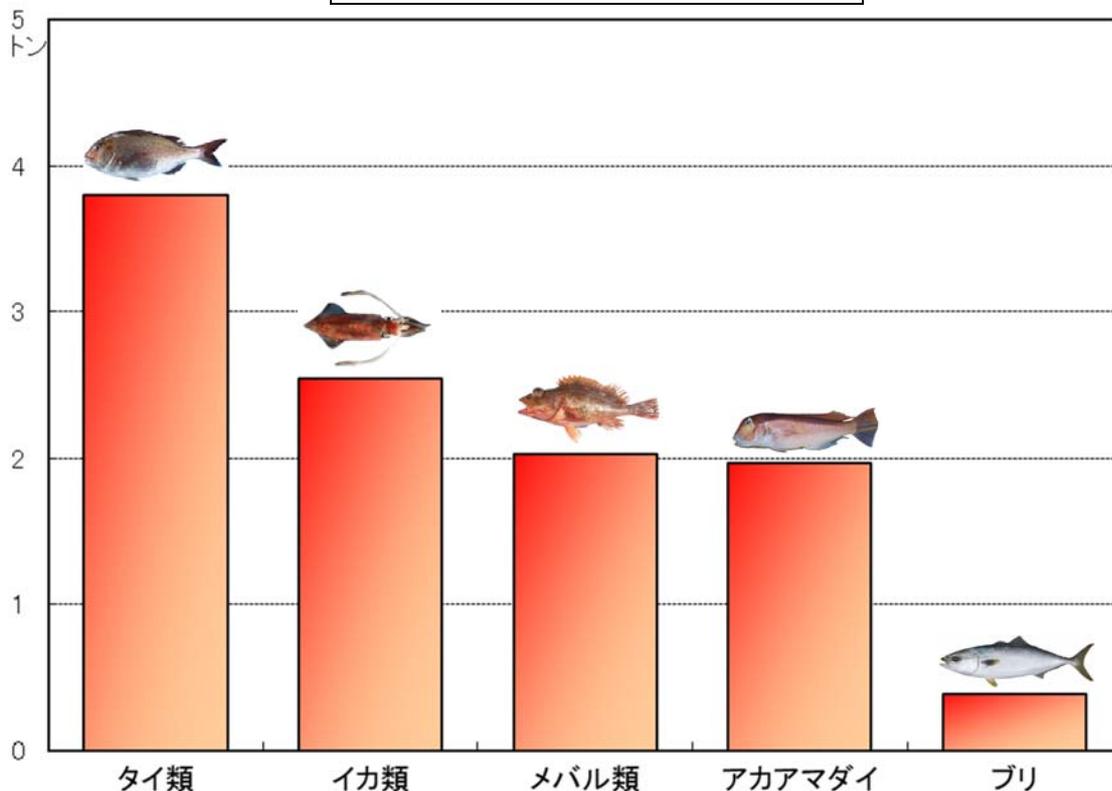
6月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
タイ類	3.8	3.9 (99%)	3.9 (98%)	<タイ類> マダイが7割弱, キダイ(れんこ鯛)が3割強などでした。
イカ類	3.4	9.9 (34%)	11.4 (30%)	
メバル類	2.5	2.7 (96%)	2.5 (101%)	
アカマアダイ(ぐじ)	1.8	1.5 (119%)	1.8 (99%)	
カレイ類	0.4	0.2 (170%)	0.3 (157%)	
カワハギ(丸はぎ)	0.3	0.2 (185%)	0.1 (485%)	<イカ類> スルメイカが6割弱, ケンサキイカ(白いか)が4割弱などでした。
ブリ	0.3	1.6 (19%)	3.6 (9%)	
サワラ	0.3	2.0 (15%)	2.0 (15%)	
スズキ	0.2	0.3 (63%)	0.3 (59%)	
マトウダイ(ぼと)	0.1	0.0 (1067%)	0.0 (320%)	
その他	3.0	1.8 (169%)	4.1 (74%)	
合計	16.1	24.1 (67%)	29.8 (54%)	

平年は過去10年平均

## 【7月】

全体の水揚量は、平年の7割弱（前年の8割強）と低調でした。

2017年7月の漁獲量(上位5魚種)



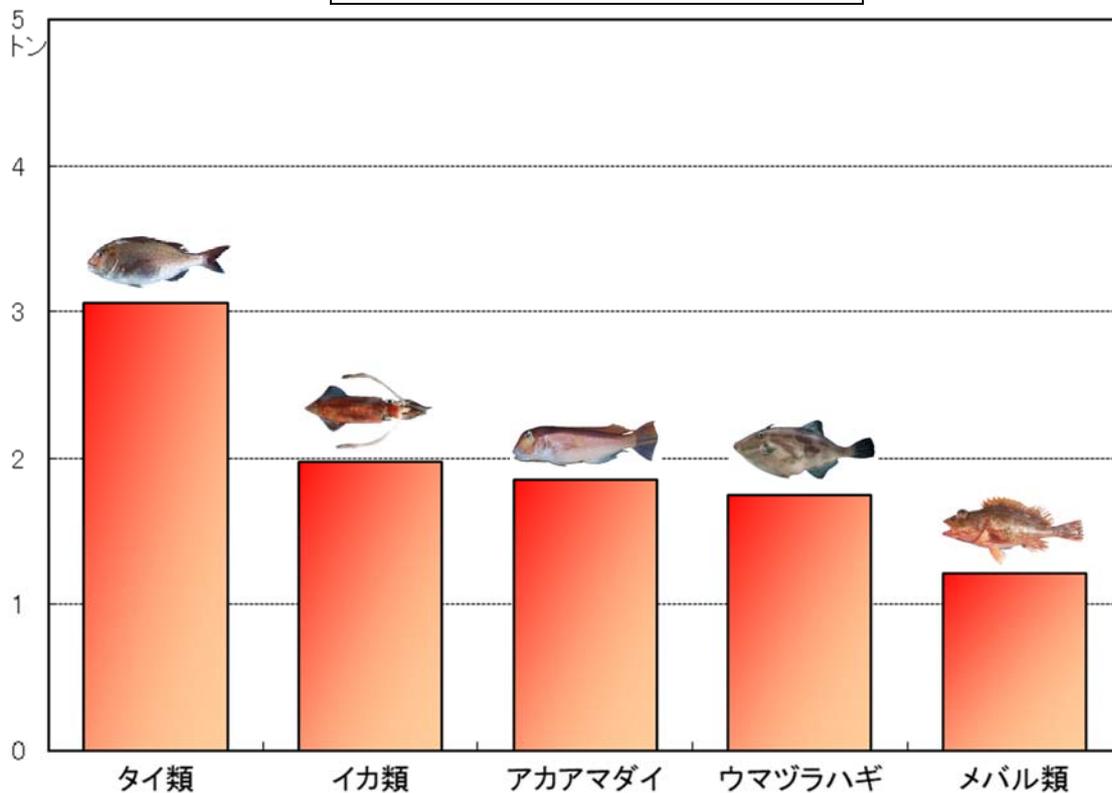
7月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
タイ類	3.8	3.5 (110%)	3.6 (105%)	<タイ類> マダイが6割強, キダイ(れんこ鯛)が4割弱などでした。
イカ類	2.5	3.0 (85%)	4.9 (51%)	
メバル類	2.0	3.1 (66%)	2.6 (77%)	
アカアマダイ(ぐじ)	2.0	2.4 (82%)	1.9 (104%)	
ブリ	0.4	0.1 (693%)	0.3 (116%)	
カレイ類	0.2	0.2 (89%)	0.4 (48%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が9割強, スルメイカが1割弱などでした。
スズキ	0.1	0.4 (20%)	0.3 (27%)	
マアジ	0.1	0.2 (27%)	0.8 (8%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.0	0.8 (5%)	0.5 (8%)	
カワハギ(丸はぎ)	0.0	0.1 (53%)	0.0 (81%)	
その他	1.9	1.9 (102%)	3.9 (49%)	
合計	13.0	15.5 (84%)	19.3 (67%)	

平年は過去10年平均

## 【8月】

全体の水揚量は、平年の7割弱（前年の8割弱）と低調でした。

2017年8月の漁獲量(上位5魚種)



8月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考	
タイ類	3.1	3.8 (80%)	4.2 (74%)	<タイ類> マダイが5割強, キダイ(れんこ鯛)が5割弱などでした。	
イカ類	2.0	3.8 (52%)	3.2 (63%)		
アカアマダイ(ぐじ)	1.9	2.3 (80%)	2.5 (76%)		
ウマヅラハギ(長はぎ)	1.8	0.7 (259%)	1.4 (121%)		
メバル類	1.2	1.6 (73%)	1.7 (70%)		
ブリ	0.1	0.2 (71%)	0.3 (43%)	<イカ類> ケンサキイカ(白いか)が6割強, ソデイカ(たるいか)が3割強などでした。	
マアジ	0.1	0.3 (30%)	0.5 (17%)		
ヒラマサ	0.0	0.0 (110%)	0.0 (84%)		
スズキ	0.0	0.0 (67%)	0.1 (32%)		
サワラ	0.0	0.0 (333%)	0.4 (5%)		
その他	0.7	1.0 (66%)	1.8 (38%)		
合計	10.8	13.8 (79%)	16.0 (67%)		

平年は過去10年平均